

みんな家族

いつもは堤防で刈った草は牛や馬の餌になるんやが、夏が来るとそ
うやなかつた。

大量に発生する蚊を退治するために使っんやさ。生の草こもに小糠こぬかをふ
りかけてくすぶらせると煙がいぶし臭いだけやなくて喉のどがいがらつぽ
くなる。

そんな煙が小屋いっばいに広がると蚊がみんな飛び出すはずなんや
が、しつこい奴があつて牛や馬の体からなかなか離れんのや。

尻尾しんびではらつても払いきれん蚊は小屋のあちこちにぶらさがつた藁
に体をこすりつけ自分であつはらう。昼間いっばい働いて夜は蚊の攻撃
に合つ牛や馬が可愛想あはれやつた。

草をいぶすのは朝一回と夕方
はごほんの前と後の二回やつた。
黙もくつて働いてくれる牛や馬を
大事にしたんや。

*小屋にぶらさげた藁はすがいを何本もたばねて作ったもの



協力	
西蚊塚区長	末松 勝美さん (73歳)
協力者	坂 岩田 豊さん (84歳)
堀 孝男さん (83歳)	進さん (78歳)

あの頃の『広報あんぱち』 ~平成5年1月号の記事より~

カンボジア・ラジオ支援キャンペーン
~VOICE・AID カンボジアにラジオを~



あの頃を振り返って
安八町森部 在住
島居 幸生 さん

当時、島居幸生さんは安八ルネサンス委員会の
代表としてご活躍されていました。



▲表紙



▲ボイス・エイドで集められたラジオの数々 (まちのトピックス)

当時、カンボジアの実情や、内戦終了後に民主的選挙を行うという報道が頻繁に
にされていました。私は、世界市民の一員として平和や文化、教育運動が大切で
あると考えていました。また、その考えに共感する仲間とともに、国連からの選
挙教育活動でのラジオ収集の依頼書を手し、広報あんぱちへの掲載依頼、小・中
学校や個人宅一軒一軒を訪問し、ラジオの提供をお願いさせていただきました。

その結果、多くの方のご賛同とご協力を得て、多数のラジオをカンボジアに届
けることができました。

現在、活気あるカンボジアの姿をニュース等で見たり聞いたりすると、あの時、
国づくりの一役を担い、また、それに貢献できたことをうれしく思います。

これからも、この体験を活かし、一町民として安八町の発展に微力ながら貢献
できたらと考えています。